



学校だより



令和4年11月30日
12月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL 042(481)7636

展覧会を終えて

学芸行事委員長 金子 寿美

11月17日から1週間にわたって「展覧会」を開催いたしました。期間中は、多くの保護者の皆様や地域の方に御観覧いただき、ありがとうございました。体育館改修工事のため、会場を校舎とし、第一小学校全体を楽しくすてきな美術館に見立てた形で実施しました。

今回のテーマである「伝えよう！私の思い、きらめく世界」のように、一小の子供たちの豊かな発想や創造力を、一人一人の個性あふれる作品を通してお伝えすることができたのではないかと思います。図工の授業では、様々な材料や道具の使い方を学びながら、自分で試行錯誤し、五感を使い、表現することを楽しみながら制作する姿が見られました。

また、感染症対策を講じながら、みんなでアート作りにも取り組みました。正門を入ると、6年生の「のびろ！きらめく世界へ」と代表委員によるテーマのタペストリーが出迎え、校舎内の壁面には、時間をかけて描いたマスキングテープでの様々な景色が広がりました。初めての試みに、6年生の子供たちは、アイデアを出し合いながら学校全体を彩りました。

6年生は、「今年度がひばり音楽祭ではなくなってしまったと聞いたときは悲しかったけれど、今では展覧会でよかったと思う。意見がぶつかってしまうこともあったけれど、完成したときのうれしさが大きく、この友達と一緒に作ってよかったと思えた。作っているときも楽しく、他の子の作品を鑑賞しているときもとても幸せな時間になった。」「一つ一つの線や素材を見て書いたら上手に描けたり、線ではなく点で山を描いたらきれいになったりと、一つの作品作りでチャレンジすることの大切さを知ることができた。」と話していました。子供たちが、お互いのよさを認め合い、成長できる行事となったことをうれしく思います。

子供たちは、他の学年の作品を見ながら、「かわいい！」「自分も作ってみたい。」「6年生の作品、すごいね。6年生になったら作れるかなあ。」などと、キラキラと目を輝かせていました。友達の作品に素直に感心し、感想を語り合っている様子は、見ていてとても心温まりました。

自分で作り出していく楽しさや喜びを感じ、自分や友達の良いさに気付いていく・・・展覧会という行事をとおして、子供たちの心が成長したことを実感しました。



いのちと心の教育月間

調布市教育委員会では、12月を調布市立小・中学校「いのちと心の教育」月間と位置付けています。第一小学校では、全学級で「生命の尊さ」を扱った道徳の授業を行います。自他の命を大切にし、一人一人の違いを認め合える豊かな心を育てていきたいと思ひます。

12月の生活目標 身のまわりの整理整頓をしよう

学習用具など、自分の持ち物を整理できているでしょうか。

学習の準備を手際よくするためにも、整理整頓の習慣を育て、物をなくしたり落としたりしないで大切にすることを養っていききたいと思ひます。